

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第49週 （12月1日～12月7日）

## ★県内での感染症発生状況

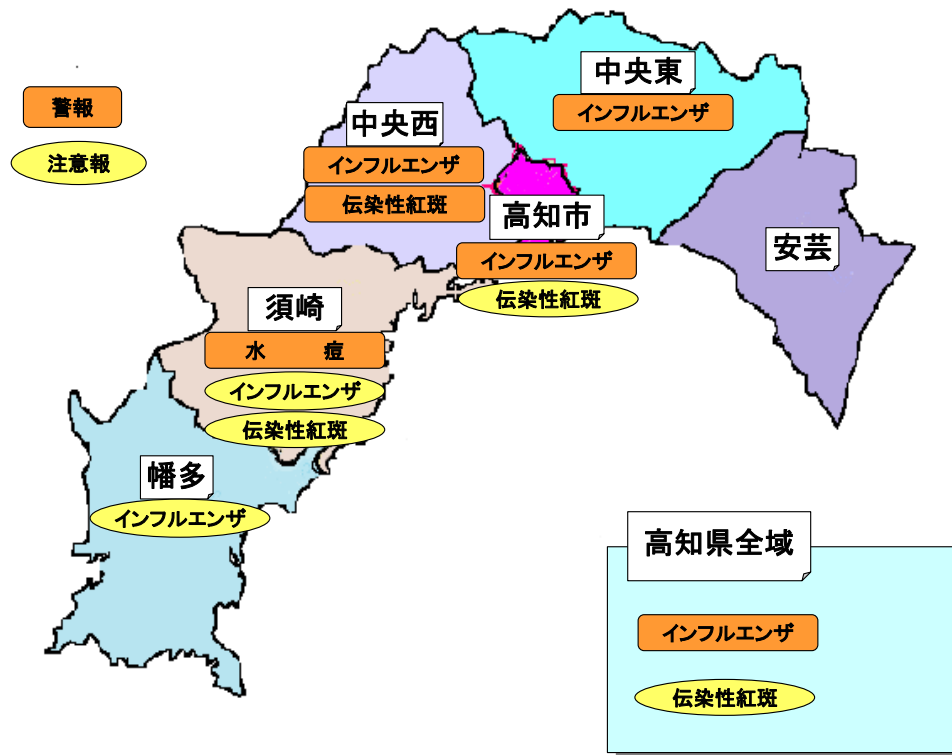
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	保健所管内別の傾向
インフルエンザ	▲	33.08	中央東、中央西で急増、高知市、幡多で増加していますが、安芸で減少しています。
感染性胃腸炎	→	2.50	幡多で急増していますが、中央東で急減、須崎で減少しています。
新型コロナウイルス感染症	→	1.97	中央西、高知市で増加していますが、須崎、安芸で急減、中央東で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.60	須崎で急増、高知市で増加していますが、安芸、中央西、幡多で急減しています。
伝染性紅斑	▲	1.15	中央西、須崎で急増、高知市で増加していますが、中央東で減少しています。

### <推移の基準>

急増	▲	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	▲	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	▲	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	▼	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

## ★地域別警報・注意報状況



## ★週報の発行日

週報は、毎週「木曜日」の午後3時30分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

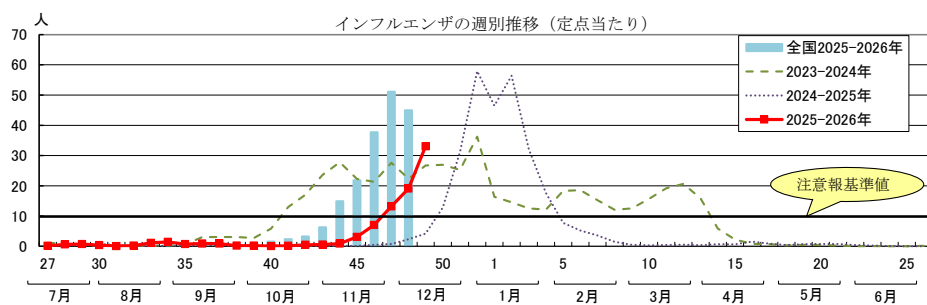
## ★気になる感染症

### インフルエンザ

高知県の定点当たりの報告数は、第40週以降9週連続で増加しており、県全域で警報値を超えています。また、学校等から集団発生による休校、学年閉鎖、学級閉鎖が多数報告されています。外出後の手洗いなどの感染予防、症状がある方は、咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大します。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場では特に注意してください。

県内のインフルエンザ定点医療機関での迅速診断では、インフルエンザA型が90.3%（903件）、インフルエンザB型が9.7%（97件）と2種類報告されています。

全国では、原因ウイルスとして、第45週～第49週はAH3が最も多く95.9%（284件）、次いでB（ビクトリア系統）2.4%（7件）、AH1pdm09が1.4%（4件）、B（系統不明）が0.3%（1件）の順で検出されています。



学校等における集団発生

※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第49週	—	—	—	—	—	1	1
	累計	—	1	—	—	1	1	3
学年閉鎖	第49週	1	1	1	5	2	1	11
	累計	1	2	9	6	6	3	27
学級閉鎖	第49週	—	3	10	1	1	1	16
	累計	1	4	31	4	2	4	46

### ●インフルエンザ予防接種

インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。ワクチン接種後、抗体ができて予防効果を発現するには、およそ2週間かかると言われています。かかりつけ医等、医療機関に相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討ください。

### ●予防方法

～かからないために～

- \*外出した後などにはこまめに手洗いしましょう。
- \*外出時はなるべく人ごみを避けましょう。
- \*十分な栄養と休養をとりましょう。

～うつさないために～

- \*咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど「咳エチケット」を守りましょう。
- \*インフルエンザが疑われるときには、登校を控えるなど、外出はできるだけ控えましょう。

### ●学校感染症

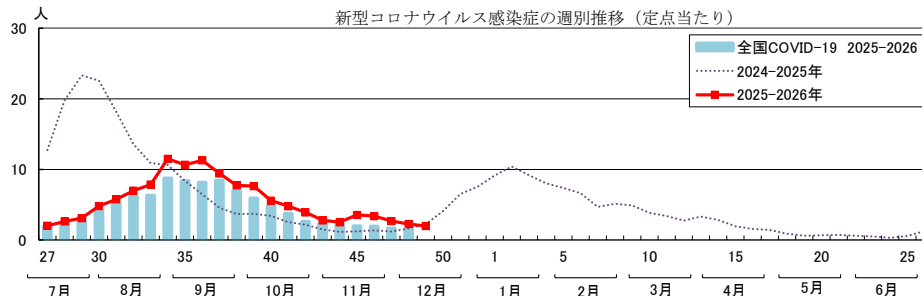
インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

### ●厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html)

## 新型コロナウイルス感染症

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第45週 11/3～11/9	135	3.55
第46週 11/10～11/16	129	3.39
第47週 11/17～11/23	102	2.68
第48週 11/24～11/30	86	2.26
第49週 12/1～12/7	75	1.97



高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化するおそれがありますので、注意してください。高齢の方と会ったり、通院するときは、マスクの着用など感染対策をお願いします。

### ●新型コロナウイルス変異株情報

		オミクロン株					
月	週	NB.1.8.1	PQ.2	PQ.8	PQ.17	PQ.24	総計
9	36	2	1	1			4
	37	2	1				3
	38					1	1
	39		2		2		4
10	40		1				1
	41		1				1
	42						0
	43				1		1
11	44		2				2
	45						0
	46		2				2
	47						0
12	48		1				1
	49						0
9月～11月 ウイルス検出割合		NB.1.8.1	PQ.2	PQ.8	PQ.17	PQ.24	
		4	11	1	3	1	計
		20.0	55.0	5.0	15.0	5.0	%

【参考】新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）変異株について  
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/covid-19/180/flu2-1-1.html>

### ●予防方法・注意点

- \*手洗い、十分な換気、密接・密集・密閉といったいわゆる「三密」を避ける、咳エチケットなどの感染対策をお願いします。
- \*医療機関や高齢者施設など重症化リスクの高い方々が集まる場所を訪れる場合は、マスクの着用ほか、施設の定めるルールに従いましょう。
- \*発熱等の症状のある方は、出勤や登校を控え、マスクを着用のうえ、医療機関を受診（特に高齢者・基礎疾患を有する方）しましょう。

＊令和7年10月から、自治体による定期接種を実施しています。

＜対象＞ ・65歳以上の方

・60歳～64歳で対象となる方※

※心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

新型コロナワクチンは、インフルエンザワクチンや带状疱疹ワクチン、高齢者に対する肺炎球菌ワクチンと同時接種が可能です。

定期接種はお住まいの（住民票のある）市町村（特別区を含む）で実施されます。

接種を受ける場所や費用についての詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください。

参考：新型コロナワクチンについて（厚生労働省）：<https://www.mhlw.go.jp/content/001571934.pdf>

## ●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

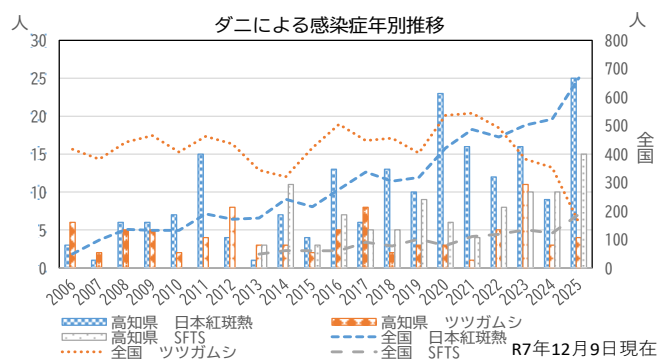
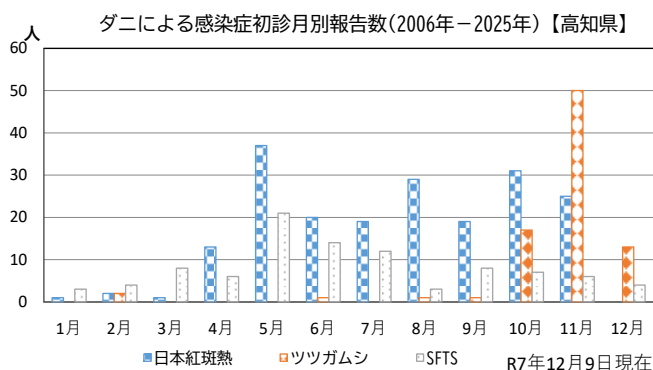
## ●参考

＊新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

## ダニの感染症（つつが虫病・日本紅斑熱・SFTS）

中央東保健所管内から「つつが虫病」の報告が2件ありました



つつが虫病は「ツツガムシ」に咬まれることによって感染します。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症である「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」にもご注意ください。マダニは、春から秋にかけて活動が活発になります。農作業やレジャーなど野外での活動が多くなる時期には、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

予防対策については、ツツガムシ・マダニに「咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどの対策をして注意しましょう。

また、ネコやイヌなどの動物が感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

## ●予防方法

- \* ツツガムシ・マダニに「咬まれない」ことが予防策になります。
- \* 忌避剤（虫よけ剤）を効果的に使用しましょう。（説明書の注意書に沿って使用してください。）
- \* 飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- \* 体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

## ●発熱等の症状が出た場合

- \* 野山に入ってから数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- \* 受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ツツガムシ・マダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

## ●ツツガムシ・マダニから身を守る方法

野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を避けましょう。  
首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。  
シャツの袖口は軍手や手袋の中に、裾はズボンの中に入れましょう。  
ズボンの裾は長靴の中に入れるか、ズボンの裾に靴下を被せましょう。

野外活動後は、上着や作業着はそのまま家に持ち込まないようにしましょう。  
また、シャワーや入浴でダニが付いてないかチェックしましょう。（「できもの」のように見えることがあります。）  
ガムテープや粘着クリーナーを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。



出典：国立感染症研究所 昆虫医科学部

## ●参考

- \* 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)
- \* 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/>

## ★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	53	30 歳代 男性	中央東
4 類	つつが虫病	1	3	60 歳代 女性	
		1		70 歳代 女性	
5 類	後天性免疫不全症候群	1	3	40 歳代 男性	安 芸
	百日咳	1	1,318	10～14 歳 男性	安 芸
		1		15～19 歳 女性	
		1		30 歳代 女性	中央東
		1		20 歳代 女性	高知市
		1		30 歳代 女性	
		1		5～9 歳 女性	幡 多

## ★病原体検出情報

### 前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
48	ヘルペス初感染疑い	39℃, 歯肉炎	12	女	須崎	Human herpes virus 7
48	水痘	38℃, 水疱	5	男	須崎	human parvovirus B19 Varicella-zoster virus
48	水痘	発疹	4	男	須崎	human parvovirus B19 Rhinovirus
48	水痘	発疹	4	男	須崎	human parvovirus B19
48	水痘	発疹	4	女	須崎	Epstein-Barr virus Human herpes virus 7 Varicella-zoster virus Rhinovirus
48	水痘	38℃, 発疹	2	男	須崎	Human herpes virus 7 Varicella-zoster virus
48	伝染性紅斑	39℃, 発疹	1	男	須崎	Rhinovirus
受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	急性呼吸器感染症 (COVID19)	39℃, 咳嗽, 味覚障害あり	11	女	須崎	SARS-CoV-2(解析不能)
45	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	40℃, 咳嗽	11か月	男	幡多	SARS-CoV-2(解析不能)
46	急性呼吸器感染症 (COVID19)	38℃, 咳嗽	5	女	高知市	SARS-CoV-2
46	急性呼吸器感染症 (COVID19)	38℃	90	女	高知市	SARS-CoV-2
46	急性呼吸器感染症 (COVID19)	38℃	50	女	高知市	SARS-CoV-2
46	急性呼吸器感染症 (COVID19)	40℃	85	女	高知市	SARS-CoV-2
48	急性呼吸器感染症 (COVID19)	38℃	12	男	高知市	SARS-CoV-2
48	急性呼吸器感染症 (COVID19)	37℃	78	女	高知市	SARS-CoV-2
48	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	39℃, 腹痛, 咳嗽, 関節痛	7	女	須崎	Adenovirus 5
48	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ)	39℃, 咳嗽	12	女	高知市	Rhinovirus

## ★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	インフルエンザ A 型 9 例 (1~5 歳男 7 人・女 2 人) 溶連菌感染症 1 例 (2 歳女)
	JA 高知病院小児科	水痘 1 例 伝染性紅斑 1 例 突発性発疹症 1 例 COVID-19 3 例 インフルエンザ A 型 106 例、B 型 6 例、臨床診断 24 例 第 48 週マイコプラズマ (Lamp 法) 2 例
	嶺北中央病院内科	インフルエンザ A 型 5 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ感染症 1 例 (5 歳) 溶連菌感染症 13 例 カンピロバクター腸炎 2 例 (14 歳、16 歳) インフルエンザ A 型 135 例、B 型 13 例
	近森病院	インフルエンザ A 型 10 例、B 型 1 例、臨床診断 1 例
	はまだ小児科	インフルエンザ A 型 76 例、B 型 7 例
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症+インフルエンザ A 同時感染 1 例 (6 歳女) 溶連菌感染症+インフルエンザ B 同時感染 1 例 (7 歳女) COVID-19+インフルエンザ A 同時感染 1 例 (5 歳女) インフルエンザ A 型 54 例、B 型 15 例 溶連菌感染症 6 例 COVID-19 4 例 伝染性紅斑 2 例
	ふないキッズクリニック	マイコプラズマ感染症 1 例 (10 歳男)



高知市	細木病院小児科	マイコプラズマ感染症 2 例（8 歳男、10 歳女） 咽頭結膜熱 2 例 溶連菌感染症 5 例 感染性腸炎 1 例 水疱 1 例 インフルエンザ A 型 44 例、B 型 4 例
中央西	くぼたこどもクリニック	COVID-19 5 例 インフルエンザ A 型 52 例（内 2 人臨床診断） インフルエンザ B 型 3 例 インフルエンザ A 型+B 型 1 例
須 崎	大西病院小児科	インフルエンザ A 型 7 例、B 型 7
	くぼかわ病院内科	インフルエンザ A 型 7 例
	須崎くろしお病院内科	インフルエンザ A 型 5 例、B 型 1 例
	もりはた小児科	肺炎マイコプラズマ感染 3 例 インフルエンザ A 型 52 例、B 型 11 例 水痘 4 例
幡 多	渭南病院小児科	インフルエンザ B 型 2 例
	こいけクリニック	ロタウイルス胃腸炎 1 例（1 歳女） マイコプラズマ肺炎 1 例（7 歳女） アデノウイルス扁桃炎 1 例（3 歳女）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2025 年 12 月 9 日現在の情報により作成しています。

★高知県感染症情報  
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）

第49週										令和7年12月1日（月）～令和7年12月7日（日）			高知県衛生環境研究所		
定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国（48週）	高知県（49週未累計） R6/12/30～R7/12/7	全国（48週未累計） R6/12/30～R7/11/30		
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		63	316	1293	270	192	224	2,358（ 62.05 ）	1,906（ 50.16 ）	341,273（ 88.80 ）	53,552（ 1409.26 ）	7,739,185（ 2016.99 ）		
	インフルエンザ		11	330	475	150	90	201	1,257（ 33.08 ）	726（ 19.11 ）	173,380（ 44.99 ）	11,164（ 293.79 ）	1,348,572（ 325.82 ）		
	新型コロナウイルス感 染		1	12	38	13	5	6	75（ 1.97 ）	86（ 2.26 ）	5,552（ 1.44 ）	8,757（ 230.45 ）	756,646（ 182.81 ）		
小児科 (20)	咽 頭 結 膜 熱				2				2（ 0.10 ）	9（ 0.45 ）	571（ 0.24 ）	241（ 12.05 ）	44,079（ 17.23 ）		
	A群溶血性レンサ球菌 咽 炎			3	25		4		32（ 1.60 ）	29（ 1.45 ）	4,834（ 2.06 ）	1,963（ 98.15 ）	258,885（ 101.21 ）		
	感 染 性 胃 腸 炎				28	2	1	19	50（ 2.50 ）	47（ 2.35 ）	8,307（ 3.55 ）	3,470（ 173.50 ）	733,347（ 286.69 ）		
	水 疱		1	3			4	2	10（ 0.50 ）	7（ 0.35 ）	795（ 0.34 ）	187（ 9.35 ）	38,298（ 14.97 ）		
	手 足 口 病								（ ）	1（ 0.05 ）	243（ 0.10 ）	389（ 19.45 ）	28,622（ 11.19 ）		
	伝 染 性 紅 斑			3	11	7	2		23（ 1.15 ）	12（ 0.60 ）	1,343（ 0.57 ）	853（ 42.65 ）	152,450（ 59.60 ）		
	突 発 性 発 疹			2	4				6（ 0.30 ）	2（ 0.10 ）	473（ 0.20 ）	248（ 12.40 ）	33,001（ 12.90 ）		
	ヘルパンギーナ								（ ）	（ ）	81（ 0.03 ）	796（ 39.80 ）	49,415（ 19.32 ）		
	流行性耳下腺炎								（ ）	（ ）	100（ 0.04 ）	34（ 1.70 ）	6,098（ 2.38 ）		
	RSウイルス感染症				1				1（ 0.05 ）	4（ 0.20 ）	1,362（ 0.58 ）	1,020（ 51.00 ）	104,680（ 40.92 ）		
眼科 (3)	急性出血性結膜炎								（ ）	（ ）	6（ 0.01 ）	（ ）	1,005（ 1.45 ）		
	流行性角結膜炎								（ ）	（ ）	489（ 0.70 ）	33（ 11.00 ）	28,351（ 40.97 ）		
基幹 (8)	細菌性髄膜炎								（ ）	（ ）	8（ 0.02 ）	3（ 0.38 ）	410（ 0.85 ）		
	無菌性髄膜炎								（ ）	（ ）	15（ 0.03 ）	7（ 0.88 ）	929（ 1.94 ）		
	マイコプラズマ肺炎				2			4	6（ 0.75 ）	7（ 0.88 ）	556（ 1.16 ）	309（ 38.63 ）	17,998（ 37.50 ）		
	クラミジア肺炎 （オウム病は除く）								（ ）	（ ）	5（ 0.01 ）	（ ）	129（ 0.27 ）		
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスに限る）				1				1（ 0.13 ）	（ ）	2（ ）	24（ 3.00 ）	1,774（ 3.70 ）		
計 （ARIを除く）			12 （ 4.00 ）	351 （ 51.10 ）	590 （ 49.33 ）	172 （ 45.25 ）	106 （ 29.25 ）	232 （ 40.57 ）	1,463 （ 42.13 ）		198,122	29,498 （ 984.29 ）	3,604,689		
前 週 （ARIを除く）			28 （ 10.00 ）	183 （ 27.85 ）	403 （ 34.81 ）	67 （ 18.00 ）	121 （ 31.50 ）	128 （ 23.70 ）		930 （ 27.80 ）					

\*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咽痛、咽頭腫、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

注 （ ） は定点当たり人数

\*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

高知県感染症情報（49定点医療機関） 定点当たり人数

定点名 (定点数)		第49週										
保健所 疾病名等		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国（48週）	高知県（49週未累計） R6/12/30～R7/12/7	全国（48週未累計） R6/12/30～R7/11/30
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症 (ARI)*	21.00	45.14	99.46	67.50	48.00	32.00	62.05	50.16	88.80	1409.26	2016.99
	インフルエンザ	3.67	47.14	36.54	37.50	22.50	28.71	33.08	19.11	44.99	293.79	325.82
	新型コロナウイルス 感染症	0.33	1.71	2.92	3.25	1.25	0.86	1.97	2.26	1.44	230.45	182.81
小児科 (20)	咽 頭 結 膜 熱			0.25				0.10	0.45	0.24	12.05	17.23
	A群溶血性レンサ球菌 咽 炎		0.75	3.13		2.00		1.60	1.45	2.06	98.15	101.21
	感 染 性 胃 腸 炎			3.50	1.00	0.50	6.33	2.50	2.35	3.55	173.50	286.69
	水 疱		0.25	0.38		2.00	0.67	0.50	0.35	0.34	9.35	14.97
	手 足 口 病								0.05	0.10	19.45	11.19
	伝 染 性 紅 斑		0.75	1.38	3.50	1.00		1.15	0.60	0.57	42.65	59.60
	突 発 性 発 疹		0.50	0.50				0.30	0.10	0.20	12.40	12.90
	ヘルパンギーナ									0.03	39.80	19.32
	流行性耳下腺炎									0.04	1.70	2.38
	RSウイルス感染症			0.13				0.05	0.20	0.58	51.00	40.92
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									0.01		1.45
	流行性角結膜炎									0.70	11.00	40.97
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.02	0.38	0.85
	無菌性髄膜炎									0.03	0.88	1.94
	マイコプラズマ肺炎			0.40			4.00	0.75	0.88	1.16	38.63	37.50
	クラミジア肺炎 （オウム病は除く）									0.01		0.27
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスに限る）			0.20				0.13			3.00	3.70
計 （ARIを除く）		4.00	51.10	49.33	45.25	29.25	40.57	42.13			984.29	
前 週 （ARIを除く）		10.00	27.85	34.81	18.00	31.50	23.70		27.80			

\*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咽痛、咽頭腫、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

\*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります



疾病別・年齢別報告数

[illegible]

\*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

\*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

# 疾病別年次報告数推移 2025年第49週 (急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点)

